

# 食べる機能を引き出す



# リードスプーン 新商品のお知らせ

(とらえる・噛んでまとめる・送り込む・飲み込む) を導く

「食べる」を引き出す! リードスプーン 3つのメリット



スプーンの使い方

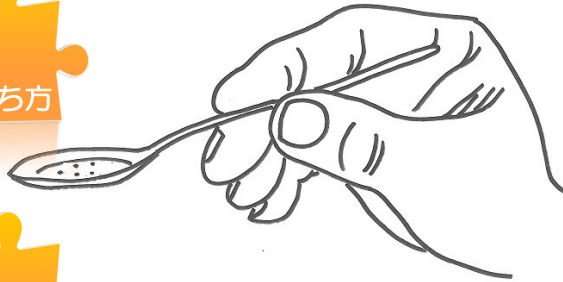
使い方動画見られます→

emリードスプーン YouTube

検索



持ち方



1

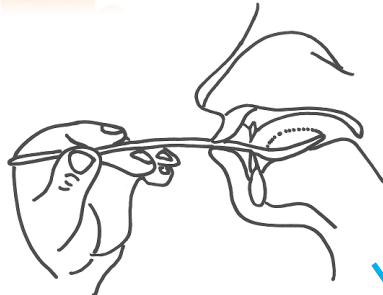
ズしない  
持ちやすさ

舌の動きを感じられる軽さで持つ



置き方

▶ 座位の場合



舌のくぼみにスプーンの底  
押しあてる

▶ リクライニングの場合



上顎にスプーンの先端をふれる

口唇を閉じる



抜き方



2

上唇に凹面の刺激  
認知され口唇閉鎖  
促す

上唇でスプーンの底をめぐいとる

3

凸面の刺激が  
咀嚼(モグモグ)運動  
誘発する



ワンポイント

嚥下のリズム (ムセにくい嚥下パターン)

えくぼをつくる → 息をとめる → うなずく → 息をはく (ハァ〜)

監修: 気の里 (豊橋市) 田中靖代



ラックヘルスケア株式会社

東京オフィス

東京都千代田区平河町1-3-13 CIRCLES平河町 3F

TEL 03-6261-8993

E.H様 看護師 福岡県

スプーンが浅く 引き抜きやすく

介助しやすかったです

軽いので使いやすい

A.N様 生活相談員 愛知県

重さかちょうど良く、介助者は

右さだが、左手でもスムーズに

介助することが出来た。

C.K様 ケアマネージャー 和歌山県

介助者：1人1人の家族

食事に合わせた(介助者の方)

スプーンの大さき等

## emリードスプーン ご利用者の声

現在ご利用中の方から届いた  
生の声をご紹介します

T.K様 ナースサポート 千葉県

食事介助の際に、どの位置で角度で

介助したらよいか、などのポイントを示してあげ

大変わかり易かったです。一口分の

大きさがちょうど良く感じました。

上あごはスプーンをかけるように運ぶと、

自然と下あごが上がりくるよう介助者

が気づいてくれるには、効果が実感できた

ように思います。

食事に頂くと同時に口腔内の刺激も与える

ことができ、使用させて頂いて下さ

り機能も(使った方は)回復して下さるに

思います。

K.S様 言語聴覚士 岡山県

介助者は持ちやすく、患者さん先口には

取り込みやすい大きさでした。

スプーン裏の突起は良いアイデアと

思いました。

K.Y様 看護師 愛媛県

①使用しやすい手触りです。

②水分がこぼれにくい。

③スプーンの大さきから引き出しやすい。

④軽い。